

青少年交流プラザの管理運営状況

1 基本情報

<所管局：子ども青少年局>

指定管理者	名古屋ユースクエア共同事業体		
主な業務内容	名古屋市青少年交流プラザの管理運営業務を適正かつ円滑に実施すること。		
評価対象期間	平成31年4月～令和2年3月	指定期間	平成29年4月～令和4年3月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 基本事項	(1) 平等利用	市民の利用にあたって不公平が生じていないか。	○	本館と分館の職員がペアを組んで事業を担当するなど本館・分館の一体的な事業運営に進展が見られた。 「青少年交流プラザ管理運営の5つの方向性」に基づき、交流の拠点や情報発信の拠点となるべく、積極的な働きかけに努めていただきたい。
	(2) 開館の実績	供用日・供用時間が遵守されているか。	○	
	(3) 情報管理	情報の管理・保護が適切になされているか。	○	
	(4) 職員体制	職員の配置、勤務実績、労働環境等は適切か。	○	
	(5) 法令等の遵守	法令、協定書等を遵守しているか。	○	
	(6) 事故・災害等への対策・対応	事故・災害等発生時の対策・対応が行われているか。	○	
2 維持管理	(1) 建物・設備の保守点検	建物・設備が適切に管理されているか。	○	点検の結果、指摘された設備については、速やかに対応してほしい。
	(2) 警備業務	安全で安心感のある環境を確保しているか。	○	
	(3) 清掃業務	利用者が快適に利用できるような状態が保持されているか。	○	
	(4) 備品の管理	備品が適切に管理されているか。	○	
3 サービス	(1) 利用実績	利用者数の向上のために積極的に取り組んでいるか。	○	利用者アンケートにおいて、9割を超えるお客様に満足いただいていた。障害者や外国人の利用者にとっても利用しやすい案内方法など検討を進めてほしい。
	(2) 利用案内・窓口対応	利用者にわかりやすい施設案内のための工夫がされているか。	○	
	(3) 接客態度	接客態度、服装等は適切か。	○	
	(4) 広報・PRの実施	広報・PRは適切に行われているか。	○	
	(5) 利用者満足度	満足度調査を実施し、サービス向上に努めているか。	◎	
	(6) 苦情・要望の把握・対応	利用者の意見や苦情について迅速に対応できているか。	○	
4 事業	(1) 事業計画	目的や長期的な視点をもった事業計画を立てているか。	○	事業に参加した青少年が、次は事業を企画・運営する側で参加するといった育成・支援の循環を意識した事業展開が見られた。 しかし、重点目標に掲げた事業の企画・運営に携わる青少年の増加については、様々な取り組みは行われたものの、結果として目標達成には至らなかった。 今後、身近な利用者のニーズや青少年に有益な情報を能動的に取得し、提供するコンテンツの充実を図るよう努めてほしい。
	(2) 事業参加実績	事業参加者数増に向けて積極的に取り組んでいるか。	○	
	(3) 人につながる支援事業	青少年が他者との関わりの中で受け止められ、安心して過ごすことができ、自立できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(4) 地域・まちにつながる支援事業	青少年が地域やまちに接点を持ち、地域やまちの取り組みに参加できるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(5) 地域・まちに働きかける支援事業	青少年が主体的に参画したり、地域やまちに対する意見を表明したりできるよう支援する事業が適切に実施されているか。	○	
	(6) 各種団体・施設等との連携	児童館を始め各種施設や各種団体等と連携した事業展開が適切に図られているか。	○	
5 経費等	(1) 執行状況	指定管理料の執行等は適正になされているか。	○	
	(2) 使用料	適正に収受・管理されているか。	○	
	(3) 再委託	再委託の方法は適正か。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等	
利用者満足度は9割を超える評価があり、安定的に施設を運営されていた。交換が必要と指摘があった設備について計画的に対応するなど、引き続き利用者満足度の維持向上を図っていただきたい。 事業面では、本館と分館の職員がペアを組んで担当するなど一体的な運営に進展が見られたとともに、事業に参加した青少年が、次は事業を企画・運営する側で参加するといった育成・支援の循環を意識した取り組みや、休館中のSNSでの発信など、青少年施設として積極的な取り組みが行われた。今後、利用者のニーズや、ボランティア募集情報などの有益な情報を施設自らが能動的に取得し、事業内容や情報発信に活かしていただきたい。 また、青少年交流プラザの目指す「5つの方向性」を踏まえ、青少年同士、青少年と企業との連携など、交流の拠点となる働きかけや、児童館等との連携による活動の広がりを意識した取り組みを進めていただきたい。 総じて、意図的かつ能動的に青少年や関係団体に働きかけ、青少年交流プラザの提供する取り組み内容が充実していくことを期待したい。	

施設の現状

青少年交流プラザ

施設 の 現 状	施設概要							
	社会性および主体性に富み、人間性豊かで活力あふれる青少年の育成を目的とする施設であり、青少年の社会との関わり方の度合いに応じて育成する総合的な支援プログラムに基づき、青少年の自立支援や社会参加・参画活動を促進する取組みを実施するほか、活動の拠点となるプレイルームや音楽スタジオ(2室)、活動室(6室)、ミーティングルーム(2室)の提供などを行っています。また、青少年が気軽に立ち寄れるオープンスペースもあります。							
	市の収支状況(千円)（元年度決算見込み額）							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	101,441	2,384	103,825	11,760	2,451	89,614	103,825	
	特記事項							
新型コロナウイルス感染症の影響として、令和2年2月20日以降の施設使用取消に対する施設使用料の還付や、令和2年3月2日以降の施設使用の休止による使用料収入の減額が発生している。								
管理 運 営 指 標 の 状 況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
	社会参加参画に関わる事業参加者数		人	3,578	3,889	4,035	4,851	
	プレイルーム等利用者数		人	83,995	84,371	86,785	82,272	
	オープンスペース利用者数		人	55,180	59,312	59,344	55,939	
	特記事項							
	令和2年3月2日以降は新型コロナウイルス感染症の影響で事業や施設の使用を休止している。							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載